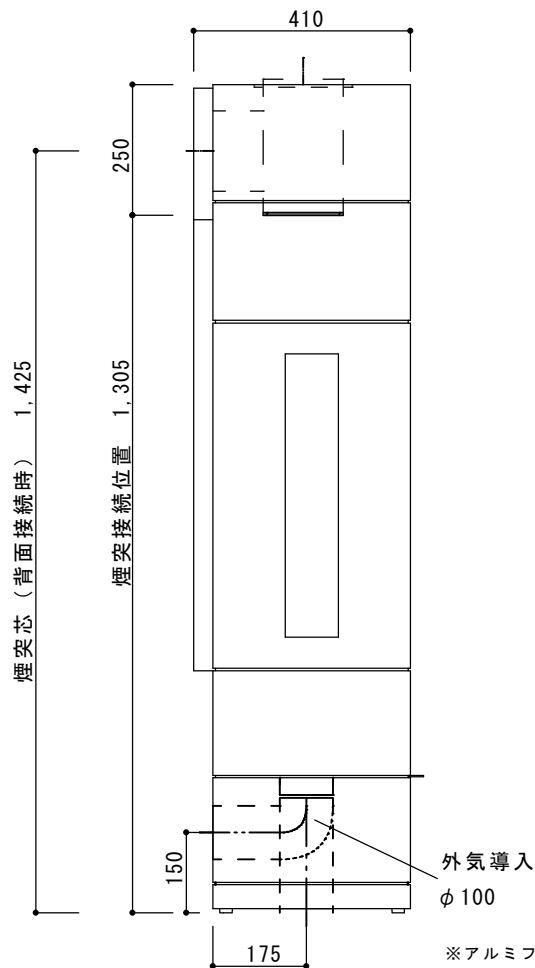
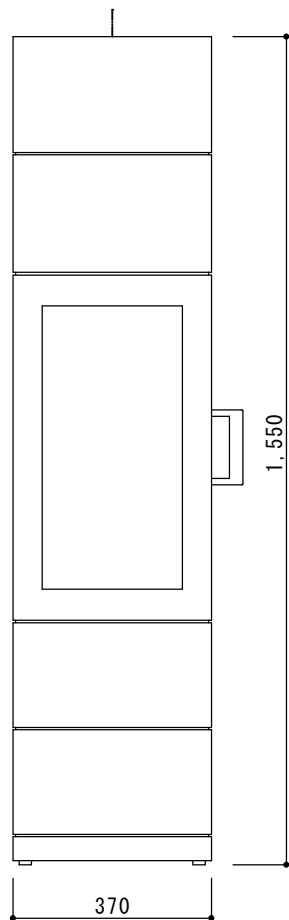
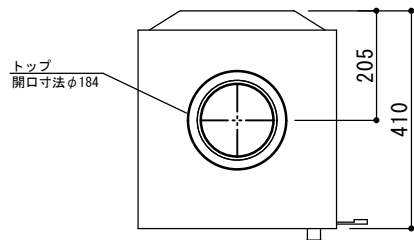


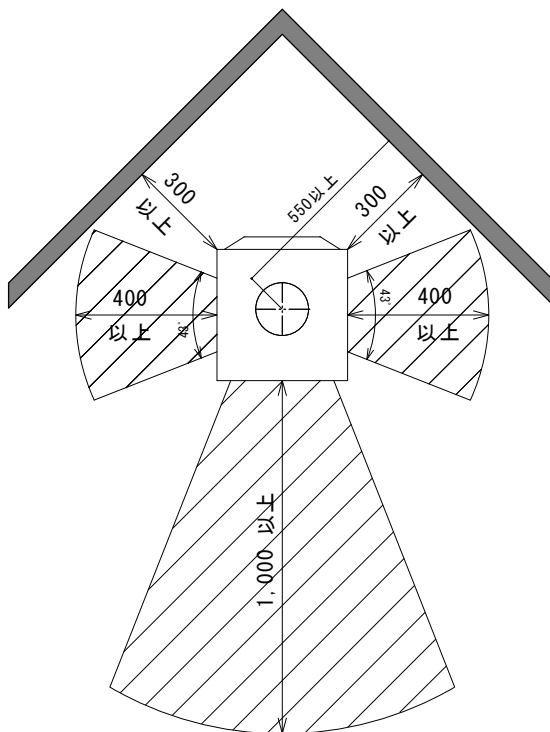
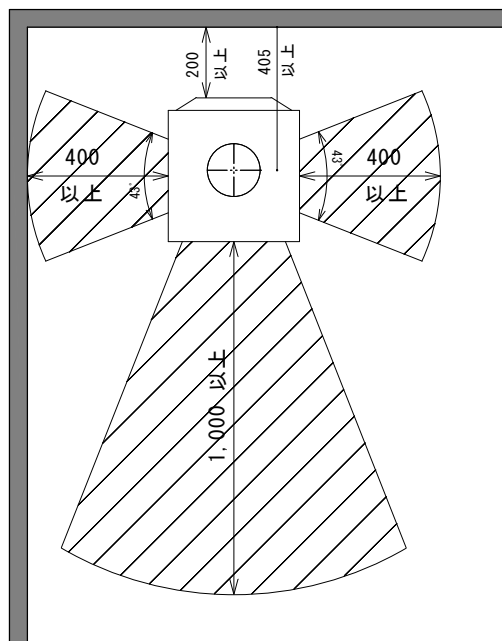


※アルミフレキ管 (φ100) をそのまま接続できます。アダプターは不要です。

最小－最大出力	2,580－6,020 kcal/hr (3.0－7.0 kw)
定格出力	5,160 kcal/hr (6.0 kw)
暖房面積	20～80 m ²
重量	155 kg
最大薪長さ/立掛け時	25/40 cm
使用煙突径	150 mm [接続/上部・背面]
燃焼効率	82 %
薪量目安	1.5 kg/hr
寸法	W370 H1,550 D410
炉内寸法	W210 H610 D270

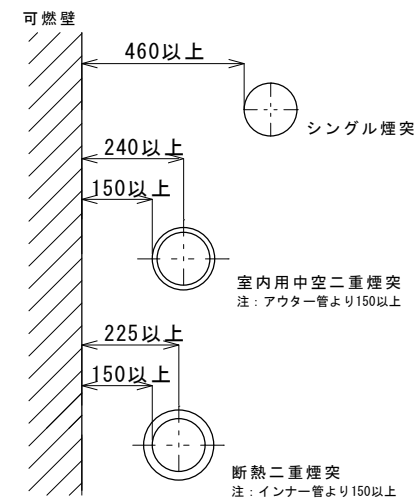
DATE	MEMO	Nagano and Sohshyo Company Limited Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690	SUBJECT承認図			SHEET TITLEhase センダイ 155		SHEET NO.
			SCALE1 / 1 0	DATE'22102101	CHECK	DRAFTKobayashi	CON	

本体と可燃壁との離隔距離



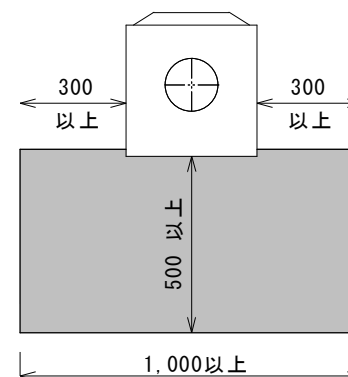
- ※表記の数値はE N基準に基づいた離隔距離です。
- ※本体前方と可燃物（家具等）との離隔距離は1,000mm以上としてください。
- ※本体上面と可燃物との離隔距離は750mm以上としてください。

煙突の離隔距離



- ※本体離隔距離と煙突離隔距離を比較して最大の数値を採用して下さい。
- ※室内煙突がシングル煙突の場合は、煙突ヒートシールドが必要です。

炉台保護範囲最少寸法



- ※ストーブを設置する床面は、不燃材のフロアプレートで保護してください。
- ※フロアプレートの寸法は、前方500mm、側方300mm以上としてください。

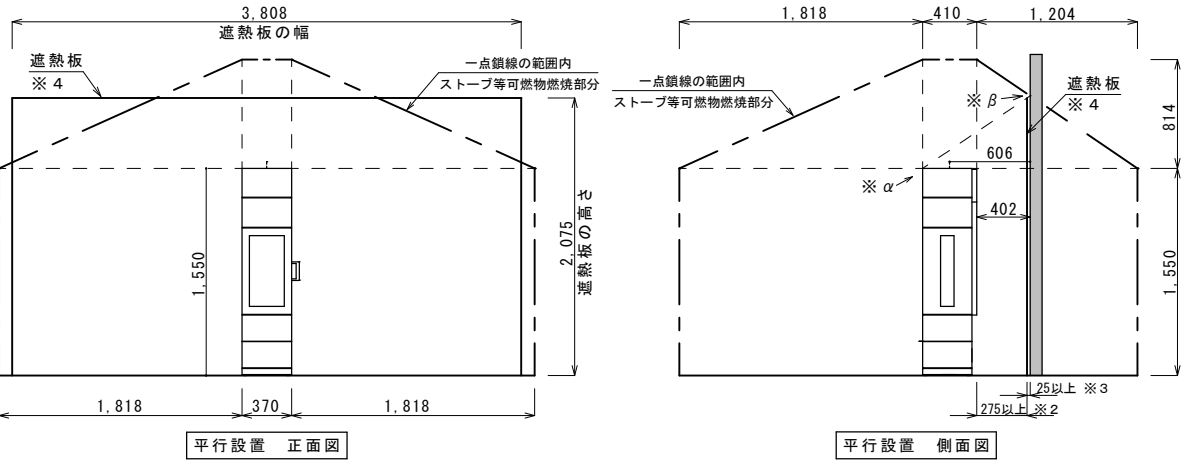
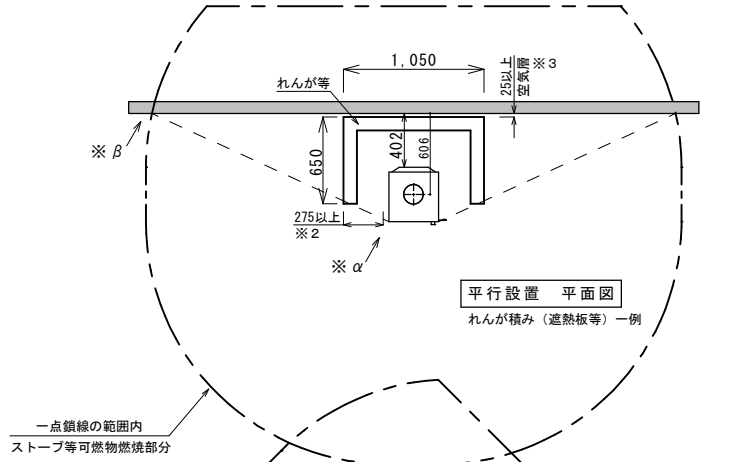
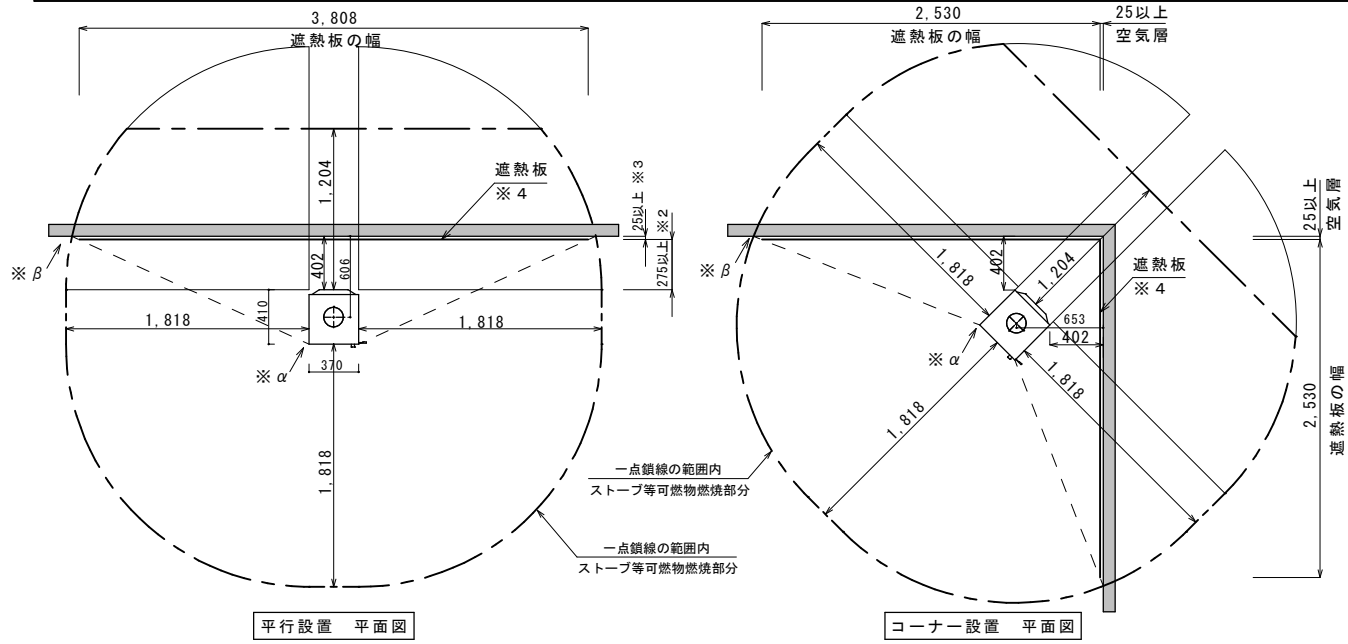
DATE	MEMO	Nagano and Sohsoyo Company Limited Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690	SUBJECT 本体離隔距離		SHEET TITLE ハーゼ Sendai センダイ135/155		SHEET NO.
			SCALE 1/15	DATE '22 2 25	CHECK	DRAFT Kobayashi	
						CON	

本体寸法 (cm)	A _v : ストープ鉛直投影面積 (cm ²)	L _s : 可燃物燃焼水平距離 (mm)	遮熱板設置時最小距離 (mm)
H 高さ 155.0	正面/背面 A _v = 155.0 × 37.0 = 5735.0	正面 (ガラス) L _{sop} = 2.40√A _v ≒ 1818	正面 = 606
W 幅 37.0	側面 A _v = 155.0 × 37.0 = 5735.0	側面 (ガラス) L _{sop} = 2.40√A _v ≒ 1818	側面 = 606
D 奥行 41.0		背面 L _{ssl} = 1.59√A _v ≒ 1204	背面 = 402
	A _h : ストープ水平投影面積 (cm ²)		
	上面 A _h = 1369.0	H _s : 可燃物燃焼垂直距離 (mm)	
	※投影面積は付属防熱板を含まず本体部分のみ	上面 H _s = 814	

- ※1 : ストープ等は1秒間当の発熱量が18kw以下のもの
- ※2 : 遮熱板等とストープ等との距離 (遮熱板等の厚みを含む) は27.5cm以上とすること
- ※3 : 遮熱板等とストープ等可燃物燃焼部分の壁との距離は2.5cm以上とすること
- ※4 : 特定不燃材料とする

特定不燃材料	・コンクリート	・鉄鋼
・れんが	・金属板	
・瓦	・モルタル	
・陶磁器質タイル	・しっくい	
・繊維強化セメント板	・石	
・ガラス繊維混入セメント板 (厚さ3mm以上)	・せっこうボード (厚さ12mm以上でボード用原紙の厚さが0.6mm以下のもの)	
・繊維混入ケイ酸カルシウム板 (厚さ5mm以上)	・ロックウール	
	・グラスウール板	

ストープ角 (※α) と、ストープ等可燃物燃焼部分と可燃物の交点 (※β) を結んだ直線上に、特定不燃材料等の遮熱板を設け有効に遮熱すること



※この資料に示す遮熱板範囲は一例です。
ストープの設置の仕方 (向き)、周壁や天井等との位置関係、
遮熱板を設ける位置によりさまざまな場合が考えられます。